



農業

農業を始めるには多くの知識、準備が必要となります。そのため、早い段階から農業に関する知識やノウハウを身につけておくことが、スムーズに農業を始めるうえで重要となります。活動のあり方として、農業を考えてみてはいかがでしょうか。

相談窓口・情報提供団体

就農相談

情報提供

【新規就農相談センター】(国関連施設)

新規就農希望者に対する相談、農地の貸借・取得に関する相談をしています。

住所 名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎8階

電話番号 052-962-2841

URL <http://www.nougyoukaigi.or.jp/gyomu/syunou/index.html>



相談風景

就農相談

情報提供

【農起業支援センター】(県関連施設)

農業後継者の方、新規に農業を始めたい方などに対して、就農相談、生産技術指導等の支援を行っています。就農を真剣に考えている方をご相談ください。

URL <http://www.pref.aichi.jp/0000049582.html>



相談風景

【センター一覧】

名称	所在地	電話番号	管轄市町村
尾張農起業支援センター	名古屋市中区三の丸2-6-1 尾張農林水産事務所 農業改良普及課内	052-961-8094	名古屋市、一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町
海部農起業支援センター	津島市西柳原町1-14 海部農林水産事務所 農業改良普及課内	0567-55-7611	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村
知多農起業支援センター	半田市出口町1-36 知多農林水産事務所 農業改良普及課内	0569-21-8111	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
西三河農起業支援センター	安城市池浦町境目1 西三河農林水産事務所 農業改良普及課内	0566-76-2400	岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町
豊田加茂農起業支援センター	豊田市元城町4-45 豊田加茂農林水産事務所 農業改良普及課内	0565-32-7509	豊田市、みよし市
新城設楽農起業支援センター	北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2 新城設楽農林水産事務所 農業改良普及課内	0536-62-0546	新城市、設楽町、東栄町、豊根村
東三河農起業支援センター	豊橋市飯村町高山11-40 東三河農林水産事務所 農業改良普及課内	0532-63-3529	豊橋市、豊川市、蒲郡市
田原農起業支援センター	田原市加治町南恩中7-5 東三河農林水産事務所 田原農業改良普及課内	0531-22-0381	田原市

【市町村での就農支援】(市町村)

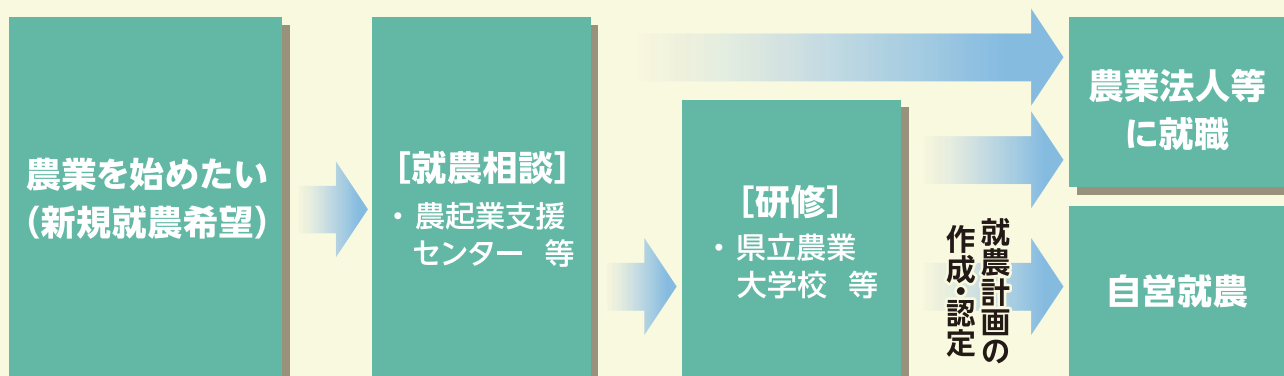
以下の県内市町村で、就農支援を実施しています。

市町村	担当部署	電話番号	市町村	担当部署	電話番号
名古屋市	農業委員会事務局	052-972-2462	小牧市	地域活性化営業部農政課	0568-76-1132
岡崎市	経済振興部農務課農業支援センター	0564-46-4490	稲沢市	経済環境部農務課	0587-32-1111
	経済振興部農務課	0564-23-6195	新城市	産業・立地部農業課農業振興対策室	0536-23-7610
一宮市	経済部農業振興課	0586-28-9136	岩倉市	商工農政課農政グループ	0587-38-5812
瀬戸市	アグリカルチャー推進プロジェクトチーム	0561-88-2653	豊明市	農業委員会	0562-92-8312
半田市	市民経済部農務課	0569-84-0636	日進市	建設経済部田園フロンティアパーク整備室	0561-73-3476
春日井市	産業部農政課農政係	0568-85-6238		建設経済部産業振興課	0561-73-2197
豊川市	産業部農務課	0533-89-2138	田原市	産業振興部営農支援課	0531-22-1126
碧南市	農業委員会	0566-41-3311	愛西市	経済建設部経済課	0567-28-7278
刈谷市	経済環境部農政課農地係	0566-62-1015	清須市	市民環境部産業課	052-400-2911
豊田市	産業部農政課	0565-34-6640	みよし市	農業委員会事務局	0561-32-8015
	農業委員会事務局	0565-34-6639		花と緑のセンター	0561-34-6111
安城市	農務課	0566-71-2234	長久手市	くらし文化部産業緑地課田園バレー係	0561-56-0620
西尾市	農林水産課	0563-65-2135	東郷町	経済建設部産業振興課農政係	0561-38-3111
蒲郡市	産業環境部農林水産課	0533-66-1126	南知多町	産業振興課農政係	0569-65-0711

出典:東海農政局HP

コラム 就農に向けた準備はどう進めるの？

本格的に農業を始めたいとお考えの方は、まずは専門の相談員に就農相談してみましょう。その後、必要に応じて、研修制度等を活用して農業技術・技能を習得し、実際に農業へ取り組むことが大切です。



出典:愛知県農林水産部農業経営課HP

新規就農「イチゴ栽培」



今井 英明さん (65歳)

退職

就農準備

就農

2010年自ら経営していた製造業会社を廃業。
同年、豊田市の「農ライフ創生センター」で農業についての勉強を開始し、
2014年イチゴ栽培を本格的に開始。現在、「JAあいち豊田いちご部会」に所属。

今、どのような活動をされていますか。

自宅のある豊田市で、ビニールハウスを活用し、780㎡の耕地面積で約5,800株のイチゴの施設栽培をしています。

イチゴの収穫時期には、毎日朝早くから収穫作業を行い、1日分の収穫が終わると、病害虫の防除や株の管理などの作業を行います。

就農してまだ1年ですが、病害虫被害など大きなトラブルもなく、1年目の収穫を終えることができ、ほっとしているところです。

何がきっかけで今の活動をされていますか。

現役を退いた後の生活をより快適に送るため、年金以外にも多少の収入を確保できればと考えていましたが、自営で働いていた私は、会社で再雇用という選択肢もなく、自行動を起こさなければなりません。

自分に何ができるかを考えたところ、私の場合、両親が農業をやっており、農地をもともと保有していたことから、その農地を活用して、何か栽培しようと思いい、就農することに決めました。

自分に何ができるかを考えたところ、私の場合、両親が農業をやっており、農地をもともと保有していたことから、その農地を活用して、何か栽培しようと思いい、就農することに決めました。

ほとんど農業初心者であった私は、栽培技術がマニュアル化され、比較的楽に栽培できそうなイチゴを栽培することにしました。しかし、実際に取り組んでみると、肉体的にも精神的にも想像以上に大変で、現在苦労しながら栽培しています。

どのようなところにやりがいを感じますか。

早朝のイチゴの姿は大変美しいもので、若葉のギザギザの一つ一つに水滴をつりさげた様子は芸術的とも言えます。

また、日ごとに少しずつイチゴの実が赤みを差してくるのを見ると、気持ちも癒され活力も湧いてきます。

今後は、形が良く、大きくて甘い、市場価値の高いイチゴをたくさん生産できればと考えています。

どのような準備をされましたか。

農業については全くの素人であったため、豊田市の「農ライフ創生センター」で2年間農業について勉強しました。しかし、実際に就農してみると分からないことも多くあったため、周りの方からその都度アドバイスをいただき、試行錯誤しながら、イチゴ栽培に取り組みました。

また、就農するに当たっては、様々な初期投資が必要だったので、愛知県の融資制度を活用しました。

また、就農するに当たっては、様々な初期投資が必要だったので、愛知県の融資制度を活用しました。

50代の方へのメッセージをお願いします。

50代のうちから、しっかりと定年後の生活について考えておけば、活動の選択肢が広がっていくと思います。50代の皆様には、自分の目標を早めに見つけ、その取組に向けて積極的に活動を進めていただきたいです。

農業に限って言えば、自分で栽培した野菜や果実は新鮮でとてもおいしく、農業に興味がある方は、家庭菜園でも良いので、ぜひ農業にチャレンジしてみたいと思います。

農業に限って言えば、自分で栽培した野菜や果実は新鮮でとてもおいしく、農業に興味がある方は、家庭菜園でも良いので、ぜひ農業にチャレンジしてみたいと思います。

農業を通じて 地域を元気にしたい



林 錡さん(70歳)

定年退職

農業を通じた地域活動

1966年愛知県に農学職として入庁。

農業改良普及所や農業技術課を中心に勤務し、2006年定年退職。

退職後、愛知県農業振興基金常務理事、農業総合試験場嘱託員を歴任。

現在、自宅のある豊田市で「JAあいち豊田しきしま特産部会」会長などとして、地域活性化に取り組む。

今、どのような活動をされていますか。

「JAあいち豊田しきしま特産部会」会長として、山菜や竹などの地域の特産物を活用した地域おこしを行っています。

具体的には、料理のツマモノとして使える葉や花を近くの山や自宅の庭から収穫し、販売しています。また、竹を活用して、雛人形や兜人形、節分飾りなどを作り、販売しています。販売当初は、なかなか売れませんでした。だんだんと周りから興味を持ってもらえるようになり、現在では、儲けは出ないものの、**商売として成り立つような状況**になってきました。

しきしま特産部会には、現在35名の方々に参加いただいています。その方々にご協力いただきながら、活動を進めています。

何がきっかけで今の活動をされていますか。

現役時代は、行政職員として働いており、税金で給料をいただいていたため、退職したら、地域に何か恩返ししなければ

ならないと考えていました。

そこで、定年後、**地域住民の方約10名**と地域活性化のために**何ができるのか**を考えたところ、豊田市(旧旭町)には産業はないが、自然は豊富にあるため、**自然を活かした地域おこしが可能ではないか**ということで、地域の特産物を活用した活動を進めていくことに決めました。

どのようなところにやりがいを感じますか。

私の活動では、「**100歳まで現役**」をモットーとして掲げており、多くの高齢者の方々にご協力いただいています。一緒に

活動している高齢者の方々を見ると、活動をやり始めた頃に比べて、今のほうが生き生きとしていて若々しく見えます。そのような姿を見ると非常にうれしく感じます。

また、活動を通じて地域が活性化することが私のモチベーションにつながっており、周りの方々から、**関心・興味を持って見ていただけたり、一緒に活動する仲間が増えると非常にやりがい**を感じます。

今後の夢を教えてください。

地域をより活性化していくため、農業体験を通じた**旅行ツアーの体制づくり**や山村の伝統料理を提供する**レストラン**などを開業したいと考えています。

50代の方へのメッセージをお願いします。

定年後の人生設計を、**在職中から具体的に考えておくことが重要**だと思います。自分には何ができて、何が足りないのかを**しっかり認識し、自分に不足している部分を50代のうちから磨いていただきたい**と思います。

50代は、責任の伴う仕事を任されて、**時間を取ることが難しい**かもしれませんが、そこは**割り切って対策を進めていただきたい**です。

また、年を取るとどうしても**好奇心が減ってくる**ので、**あらゆることに好奇心が持てるような目を養って**もらいたいです。